



重要文化財 旧函館区公会堂
(令和3年4月26日リニューアルオープン)

第231号



◇巻頭言◇

十年後、二十年後の夕陽会

夕陽会会長 藤川 隆

(昭和48年卒)

夕陽会八代会長を務められた安島進氏が、令和三年三月三日に九十二年の生涯を閉じられました。安島先生は、平成六年六月から五期十年にわたり、会長として母校の再編問題や夕陽会創立八十周年記念事業などに卓越した指導力と行動力を取り組まれ、多くの成果を残されました。その功績に、改めて感謝を申し上げます。

生前、先生は、「夕陽会で出会った方々に、たくさんのお話を教えていただいた。皆さんの出会いが、私の宝物です。」と繰り返し話されてきました。先生が大切にされてきた「夕陽会が紡ぐ人と人との温かな繋がり」が、これからも一層広がるよう見守っていただきたいと思えます。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。さて、二年続けて本部総会、大懇親会が中止になるなど、計画していた事業や活動が十分に行えない状況が続いています。しかし、夕陽会の時計を止めることなく、会報や会員名簿の発行、学生の生活支援など、できることを確実に進めています。各支部におきましても、オンラインによる総会や研修会の開催など、それぞれに工夫した取組を行っていた

だいていることを、とても心強く感じています。

ところで、新型コロナウイルスによって、人間関係や社会の在り方について見直しが迫られている今を、少し立ち止まって十年後、二十年後の夕陽会が目指すべき姿を考え、議論するチャンスにしたいと思うのです。

本号にも掲載しているように、「令和の夕陽会を考える会」から、本案の今後の在り方について、十二の提案をいただきました。一つ一つの提案を丁寧に検討し、ウィズコロナやアフターコロナの社会においても、多くの会員が、愛着や誇りを感じることでできる「令和の夕陽会」を実現するための具体策を考えていきます。本案の百余年の歴史の中で、先輩諸氏が築き、連綿と受け継がれてきたことを大切にしながらも、社会の変化や会員のニーズに応じて、組織や事業等を大きく変える決断も必要になるでしょう。まずは、「やったことがないこと」を「できないこと」ととらえるのではなく、新たな発想で柔軟に考え、挑戦することを大切にしていきます。それが、「創造」と「行動」を標榜してきた夕陽会だと思おうのです。

令和3年度 夕陽会運営方針、事業計画等について

六月二十六日に開催予定であった本部総会、大懇親会、全国支部長会議は、残念ながら本年度も開催することができませんでした。

全国支部長会議については、総会に代わるものとして九月十八日に延期して開催する予定で準備を進めていきましたが、直前に北海道に出されてきた緊急事態宣言が延長されることとなり、開催を断念せざるを得ませんでした。

そこで急遽、全国の支部長による令和三年度総会議案書の書面審議に変更し、十月九日までに承認をいただきました。この承認をもって、本年度の事業、予算執行等を行います。会員の皆様には事後報告となつてしまいい誠に申し訳ありませんが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、例年のように本号に令和三年度運営方針並びに推進事項、予算等を掲載しています。加えて、総会や全国支部長会議で会長はじめ本部役員等が報告・説明する予定であった内容の要旨を掲載します。ご一読いただき、ご質問やご意見がありましたら、ぜひ本部事務局にお知らせください。

報告事項

一 令和二年度 会務・事業報告

六月に予定していた令和二年度本部総会、全国支部長会議、大懇親会が開催できませんでした。全国支部長会議については令和二年九月十二日に延期し、総会に代わるものとして開催しました。「夕陽会報」は、第二二九号（十月）、第二三〇号（二月）の二回発行しました。それぞれに会務報告を掲載してありますので、ご確認ください。

二 令和二年度 会計決算報告

本号にも掲載してあるように、通常会費会計については、会員のご理解と、支部役員のご尽力により、約一六〇〇名の方から会費納入がありました。コロナ禍にあって、事業費や補助費、旅費の支出が予算額より大幅に減額となりました。事務費については、会議等の延期や中止の連絡、支部への資料送付のための郵送費の支出が増え、予算額を大きく超える結果となりました。

基本金会計については、十五名の方から前納会費の納入があり、元金の収入となりました。前納会員へ送付する会報の印刷費と送料、慶弔費等の合計約九十七万円は、元金から

繰り入れた八十万円と利子（益金の部）から支出しています。

なお、令和三年六月九日に三名の監査委員に帳簿や通帳等を確認いただき、会計処理が正確に行われていることが承認されました。

三 令和二年度 母校関係

令和三年三月に卒業・修了した約三百名の進路状況は、大まかに六割が民間企業、公務員と教員がそれぞれ二割となっています。全体の就職率は約九十八%と高くなっています。夕陽会としては、現在行っている教員を目指す学生への支援を、様々な職種へと広げていくことが課題になっていきます。

母校や学生への支援として、学生表彰（研究や陸上競技で活躍した個人二名、一団体を表彰）と生活応援金の支給（給付型の奨学金を受給している学生を対象）を行いました。

協議事項

一 令和三年度 運営方針並びに推進事項

概ね昨年度のものを踏襲していますが、多様な職種や年齢の同窓が気軽に集うことができる夕陽会を目指して文言の修正や追加を行っています。母校への支援については、コロナ禍にあって生活に困窮している学生の生活支援を重点に行うこととしました。

二 令和三年度 夕陽会事業計画

既に延期や中止とした事業等もありますが、会報や会員名簿の発行、本部役員会の開催など、新型コロナウイルス感染症が一日でも早く収束することを願いつつ、今できることを着実に進めています。十一月に予定されていた、道東ブロック会議については、根室支部のご尽力によりオンラインでの開催となりました。

三 令和三年度 会計予算

通常会費会計の予算については、会員数を昨年度より六%減と見込み、一五〇〇名で計算しています。繰越金が多かったため、総額として昨年度より約百万円増の六百八十万円ほどになります。支出については昨年度実績及びワクチン普及に伴う事業等の再開を見込んでの予算を組みました。事業費、補助費、会合費、旅費に関しては、既に中止となった会合等もあることから、前年度予算額の概ね六割で計上しています。また、事業費から支出しています「名簿積立」は、六十万円見込んでいます。事務費は、本年度の決算状況を勘案して増額としました。

四 本部役員改選・委嘱

会則により、会長、副会長、幹事長、副幹事長、監査は総会において会員中より選出することになっています。総会を開催できなかったことから、昨年度の役員体制を継続する

ことを基本としつつ、本号の「就任ご挨拶」にありますように新役員の選出も行いました。

本部事務局については、組織部の新田英樹部長（附属函館小学校副校長）、厚生部の長谷川秀雄部長（函館市立桔梗中学校長）に新たに加わっていただきました。

この度退任されました副会長の紺野重治氏、青柳史匡氏、榎博之氏、佐竹聡氏、海野厚二氏、潮崎弘明氏、渡辺祐司氏、総務の田中久氏、信田俊之氏、長谷恵氏、副幹事長・組織部長の五十嵐義幸氏には、本会発展のために多大なお力添えをいただきました。改めて感謝申し上げますとともに、引き続きご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

◆基本金会計について◆

支部長による紙面審議を行った際、「会員は、基本金会計について、あまり理解していない。内容の説明と、今後の活用方法について協議してほしい」との意見をいただきました。

会則第二十条の(2)に、「基本金会計は入会金、前納会員、寄附金等をもって充てる」と定められています。さらに、細則二基本金の運用に関する規定の第二条には、「夕陽会本部は、その基盤を強固にし、業務の有効な完遂を図るための基本金を造成する」とあります。つまり、基本金は通常会費会計とは別に、夕陽会の財

政基盤を強固にし、より充実した業務推進のための貯蓄と言えます。現在は、本号に掲載している会計決算報告の二基本金会計の「元金の部」にあるように、収入は利子を除くと前納会員の会費のみになります。

元金を運用して得られた配当金や利子が「益金」となり、そこから前納会員に配付する会報の印刷費及び送料、慶弔費等が支出されています。また、本年度のように会員名簿を発行する場合は、前納会員にかかる費用として百万円を支出しています。

以前は、元金の運用果実が数百万円になっていましたが、現在は数万円であるため、毎年、元金から八十万円を益金に繰り入れています。また、平成二十四年度に年会費を二千五百円に減額したことを受け、元金から会費縮減の緩和措置として三十万円を通常会計に繰り入れることが総会で承認されました。なお、令和二年度は、通常会計の残金が多かったため、繰り入れを中断しました。

以上のように、元金から毎年、二百万円程が支出されることになりました。また、平成三十年六月に開催した「夕陽会創立百周年記念事業」の経費約七百五十万円も基本金会計から支出されました。これらのことを勘案しますと、現在の基本金は十〜十五年でなくなる予想されます。いずれにしても、細則二基本金に

関する規定第三条に、「基本金は、会長が管理する。その運用については、役員会で協議し、総会の議決を経て行う」とあることから、今後の基本金の運用については、役員会で協議し、総会で決定することになります。

令和三年度版会員名簿の発行

十二月二十一日に、「令和三年度版会員名簿」を発行し、同時に発送作業を進める予定です。これまでより一回り大きくA4版にして、見やすくなりしました。また、令和初の記念すべき発行となります。発行に際し、ご協力いただきました各期代表・名簿作成者及び支部役員の皆様、心から感謝申し上げます。会員の皆様には、青春を共に過ごした仲間や学舎などに思いをはせながら、新しい会員名簿をご覧いただければ幸いです。なお、名簿記載事項の問合せ、入会や訃報等の連絡は、本部事務局にお願いたします。住所や勤務先の変更等は、名簿に添付してありますハガキをご活用ください。

学生応援プロジェクト

新型コロナウイルスにより、生活が困窮している学生を応援しようと、令和三年十一月二十二、二十四、二十五、二十六日に、パックライズやレトルト食品、マスクなどを配布し

ました。令和二年十二月の生活応援金の支給、令和三年九月の教育実習生を中心とした生活支援物資の配布に続き、第三弾となる学生支援活動です。

今回は、全学生を対象に大学からメール等により「学生応援プロジェクト」の実施についての周知を図り、記載のQRコードからの夕陽会LINEの登録を通じて百八十名を超える学生から申込みがありました。

学生からは、「この度の支援活動、ありがとうございます。非常に助かります。」「定期的にこのようなプロジェクトを開催して下さり、本当に感謝しています。今後も開催してほしいです。」など、学生支援への感謝や支援の継続についての声が多く寄せられました。教育実習のためにアルバイトを辞め、実習後もアルバイトがなくて生活がとても困窮している学生からは、来年度の実習生への積極的な支援を求めました。



令和三年度 夕陽会運営方針並びに推進事項

《運営方針》

「創造し行動する夕陽会」をモットーに、会員一人一人に活力と潤いをもたらす運営の充実と活動の活性化を図り、次の各事項の深化拡充に努める。

1 《推進事項》

組織強化と運営の効率化
会員相互の連携を重視し、各界会員の組織化と会運営の効率化を図る。

- (1) 多くの同窓生が集うための広報活動や組織拡充の取組。
- (2) 支部、ブロック、部会活動の活性化と本部との連携。(重点事項)
- (3) 会社員・公務員会員の組織化の推進。(重点事項)
- (4) 若手会員の運営への積極的な参画。
- (5) 夕陽会報231、232号の発行。

2 人材の育成

人材の発掘と会員の資質・地位の向上を図る。

- (1) 多種多様な立場の会員を結び、会員相互による連携できる場の構築や連携の促進。
- (2) 地域の教育・文化の振興をリードする会員の発掘と育成。
- (3) 民間企業、地方公共団体に勤める若手会員の中心となる人材の育成。(重点事項)

3 財政の効率的な運用と業務の見直し・効率化

「つなぎ」、「集う」視点から、諸事業の再構築と財政の効率的な運用に努める。

- (1) 財政基盤の中・長期的な整備策の実施。
- (2) 専門部、諸業務、諸事業の見直し・効率化

4

研究・研修、文化事業の奨励

会員による個人及び協働の研究・研修等を奨励し、明日の夕陽を担う会員等の研究・研修意欲の高揚を図る。

- (1) 研究・研修助成並びに研究内容の紹介。
- (2) 各支部の研究活動等の支援。
- (3) 「若手枠」の活用による夕陽会の明日を担う若手の育成。
- (4) 会員と母校学生による協働事業の奨励。(重点事項)

5

母校への支援と地域への貢献

母校の継続と発展を願い、現役学生の支援を行う。

- (1) 母校の就職対策関係事業及び教授対策関係事業への支援。
- (2) 学生に対する同窓会意識の啓発と勧誘活動の工夫。(重点事項)
- (3) 大学の地域連携・社会貢献への協力・支援。
- (4) 学生の生活、スポーツ・文化・芸術活動への支援。(重点事項)

6

夕陽記念館（北方教育資料館）の整備・活用

各種記念資料等の収集と適切な保存、展示、活用に努める。

- (1) 会員の作品、記念資料などの収集と会報やWebページ等での周知。
- (2) 夕陽記念館内外の環境整備、陳列品の整備。
- (3) 夕陽記念館の教育活用、学生・地域住民への開放などの検討。(重点事項)

夕陽会本部 事務局業務分担

庶務部

- 藤谷 毅(附属幼稚園長)
- 太田千佳子(附属特支副校長)

財政部

- 新谷 公康(北美原小長)

- 1 通常会費の徴収、支出事務
- 2 基本金及び特別会計の徴収、支出事務
- 3 予算書、決算書の作成
- 4 前納会員に関する事務
- 5 その他、財政に関すること

組織部

- 新田 英樹(附属小副校長)

- 1 各支部組織の編成と組織強化対策
- 2 会員の動向調査(支部別、校種別会員名簿)
- 3 支部役員名簿等の作成、会員名簿の作成にかかわる資料の収集
- 4 その他、組織全般に関すること

情宣部

- 櫻野 人範(中の沢小長)

- 1 「夕陽会報」の発行
- 2 その他、情宣に関すること
- Web委員長
- 佐々木正幸(桔梗小長)

○ 夕陽会ホームページの充実

文化部

- 仲井 靖典(本通中長)

- 1 会員の文化活動に対する支援
- 2 学生のスポーツ・文化・芸術活動への協力・支援
- 3 その他、文化に関すること

研修部

- 高橋 吉隆(万年橋小長)

- 1 会員の地位向上対策
- 2 会員の個人及び共同研究への助成
- 3 支部・ブロックにおける研修活動に対する支援
- 4 その他、研修に関すること

厚生部

- 長谷川秀雄(桔梗中長)

- 1 会員の親睦及び福利、厚生事業の企画、実施
- 2 記念資料及び会員の作品収集
- 3 夕陽記念館の整備、充実
- 4 その他、厚生に関すること

令和三年度支部役員名簿

Table of branch officers for the first section, including names, titles, and birth dates.

Table of branch officers for the second section, including names, titles, and birth dates.

Table of branch officers for the third section, including names, titles, and birth dates.

就任ご挨拶



就任にあたって

副会長 栗田 俊一 (昭和53年卒)

この度ご勇退された、前夕陽會副会長青柳史匡様の後任として大役を仰せつかりました栗田です。藤川会長をはじめ役員の皆様のご指導を賜りながら、微力ながら努めさせていただきます。

私は、昭和五十三年に母校(中学校課程・音楽科)を卒業し、札幌市立月寒中学校に採用されて以来、札幌市内で行政職を含め三十七年勤務しました。この間、夕陽の先輩や後輩の皆様に、様々な場面で助けていただき、夕陽の絆を強く感じた次第です。さて、私が母校在学中に、(故)



就任にあたって

副会長 松浦 一秀 (昭和59年卒 函館市立八幡小学校長)

この度、函館市小学校長会を代表し、夕陽會副会長という大役を仰せつかり、その任の重さに身の引き締まる思いであります。藤川会長をはじめ、役員の皆様のご指導を仰ぎながら、微力ながら任を務めさせていただきます。

私は、昭和五十九年三月に母校を卒業し、松前町立清部小学校に赴任して以来、渡島支部に十年間、函館支部に二十八年間お世話になりました。どの地においても夕陽會の諸先輩からのご指導、年代を超えた同窓

寺中哲二先生の下で「北海道教育大学函館分校吹奏楽団」を立ち上げたことは忘れられません。皆様ご承知の通り、現在も同団は素晴らしい音楽活動を続けており、巢立った同窓の皆さんが、各地の学校にて吹奏楽などのよき指導者として活躍していらっしゃることをうれしく、そして誇らしく思っています。これまでお世話になった母校の恩師並びに同窓の皆様へ恩返しをするつもりで、新しい時代の夕陽會を皆様と共に考え、母校を応援して参りたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



就任にあたって

副会長 木村 雅彦 (昭和59年卒 函館市立五稜郭中学校長)

この度、函館市中学校長会を代表して夕陽會副会長という大役を仰せつかりました。藤川会長はじめ役員の皆様のご指導をいただきながら、微力ではございますが、その任を果たしてまいりたいと考えております。私は昭和五十九年卒業後、同年四月浦河町立井寒台小学校に着任、平成二年函館市立戸倉中学校に着任、函館市立中学校に五校二十二年間、函館市教育委員会に八年間勤務してまいりました。この間、日高支部においても、函館市支部においても、夕陽會の諸先輩から温かいご指導や叱咤激励を賜り、心より感謝申し上げます。また、同期や後輩と



就任にあたって

副会長 榎山 聡 (昭和60年卒 七飯町立大沼岳陽中学校長)

このたび、渡島小中学校長を代表いたしました。夕陽會副会長という大役を仰せつかりました。藤川会長をはじめ、役員の皆様のご指導を賜りながら、夕陽會の充実・発展のために精一杯努めて参る所存です。どうぞ、よろしくお願い致します。

私は、昭和六十年三月に母校を卒業し、八雲町立落部中学校に採用されて以来三十七年間、渡島管内で十二年間、函館市で十五年間の勤務を経験してきました。どの地におきましても夕陽會の諸先輩からのご指導、温かいご支援をいただき心から感謝申し上げます。特に、迷った時、困った時は必ず夕陽會の先輩に頼り、後輩には助けていただきました。も

は大いに語り、お互い刺激し合ったことも思い出に残っています。同窓への思いは環境や年齢によって変わってくるものと考えています。若い頃は特に意識することはありませんでしたが、年を重ねてくると同窓ということがあります。そのことがきっかけで人生の転機を迎えたり、人生そのものが豊かになったりもします。こうした同窓との出会いをこれからも大切にするとともに、この度の就任を機に、私からもその輪を広げ、夕陽會の発展に少しでも貢献できるよう努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

このたびの就任を機に、改めて母校開学の精神である「土地墾闢・人畜蕃殖」という言葉を胸に刻み、教育・文化の創造と振興に寄与することができるよう職務に当たらせていただきます。そして夕陽會発展への貢献と、これまでお世話になった方々への恩返しができるよう微力ですが頑張ります。



就任にあたって

副会長 谷口光伸
(昭和62年卒 乙部町立乙部小学校長)

この度、檜山校長会を代表して栄えある夕陽会副会長という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いでおります。藤川会長をはじめ役員の皆様にご指導を仰ぎながら誠心誠意、夕陽会の充実・発展のために微力ではございますが精一杯努めてまいります所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、昭和六十二年三月に母校を卒業し、江差町立南が丘小学校で採用されて以来三十五年間、檜山管内六町と函館市での小学校勤務を経験し、現在乙部町立乙部小学校にて勤務をしております。この間、檜山を

中心とした活動ではありましたが、どの地におきましても夕陽会の諸先輩からのご指導、温かいご支援をいただき心から感謝しております。特に三年間の函館での勤務では、諸先輩からのご助言をはじめ同期や後輩からの支えに心から感謝するとともに、改めて同窓の絆を強く実感しました。

この度の就任を機に、これまでご指導ご助言いただいた諸先輩のご厚誼に少しでも恩返しできればと思ふとともに、本会の発展のためにお役に立てるよう頑張ります。今後ともよろしくようお願い申し上げます。



就任にあたって

副会長 竹内琢
(昭和59年卒 北海道七飯高等学校長)

この度、夕陽会高校支部長、渡邊先生のご勇退に伴い、夕陽会副会長という大役を仰せつかりました。藤川会長をはじめ、役員の皆様のご指導を賜り、夕陽会の発展・充実のため、精一杯責務を全うする所存です。私は、昭和五十九年三月母校卒業後、北見柏陽高校に赴任しました。初めての網走管内での勤務に不安がありました。義務校に勤務された

教頭、松前高校長を経て、昨年、校長として再び七飯高校に赴任しました。教員生活三十八年二市五町七校の勤務のうち道南での勤務が五校三十一一年間に及びました。現在の自分があるのは、道南地域での夕陽会の皆様からのご指導と温かいご支援のおかげと心から感謝申し上げます。来春三月退職を迎えますが、これまでお世話いただいた方々へ、恩返しができるよう、力を尽くして参りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



就任にあたって

副幹事長 新田英樹
(平成4年卒 北海道教育大学附属函館小学校副校長)

この度、附属函館小学校副校長という立場から、副幹事長(兼組織部長)の任に就くこととなり、日々その責任の重さを感じております。私は、平成二十九年まで勤務していた附属小学校での十三年間に、庶務及び財政部員として種々のお手伝いをさせていただきました。しかし、部長職ということもさることながら、組織部の仕事は初めてとなるため、不安の中で日々を過ごしているというのが偽らざるところでございます。

さて、組織部の大きな仕事のひとつとして会員名簿発行に向けて、会員との向データの確認・整理作業を滞りなく進めることがあります。これまで諸先輩が積み上げられてきた会員のデータベースに異動等情報の入

力をする中で、画面上から、遠距離にいる知人の異動や後輩の住所を知り、望外の喜びを味わいました。一方で、打ち合いや恩師をご逝去として打ち込みときは、言い表せない寂しさを感じます。組織部では、会員情報をできるだけ正確に把握すべく作業を進めておりますが、同窓生の就職先が学校関係だけでなく民間企業にも広がることも、個人情報保護法もあり、情報収集は困難さを増しております。会員の皆様には、引き続き情報提供へのご協力をお願い申し上げます。私も職責を全力で果たしてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

受賞(章)おめでとうございます

- * 函館市スポーツ協会功労賞(2/22) 近藤 健 氏 昭41年卒
- * 函館市スポーツ協功労賞(2/22) 福田 侑司 氏 昭43年卒
- * 函館市湯川三の二の四の二の二 佐藤 敏夫 氏 昭46年卒
- * 函館音楽協会協功賞(1/24) 池田 桂子 氏 昭60年卒
- * 文部科学大臣優秀教職員表彰(2/8) 桜井みちる 氏 昭58年卒
- * 函館市立大沼岳陽学校 七飯町立大沼岳陽学校 職職員表彰
- * 函館市立学校教職員表彰 函館市立亀田小学校 昭58年卒
- * 瑞宝双光章(高年齢者叙勲4/1) 川崎 大光 氏 昭30年卒
- * 瑞宝双光章(高年齢者叙勲4/1) 函館市日吉町三の二の九 松本 昭章 氏 昭30年卒
- * 瑞宝双光章(高年齢者叙勲4/1) 函館市日吉町三の二の八 細野 亨 氏 昭32年卒
- * 旭日中 中村 紘司 氏 昭38年卒
- * 瑞宝双光章(春の叙勲5/1) 石戸 大機 氏 昭42年卒
- * 瑞宝双光章(高年齢者叙勲5/1) 内藤 芳尚 氏 昭29年卒
- * 瑞宝双光章(高年齢者叙勲6/1) 須藤 三男 氏 昭31年卒
- * 瑞宝双光章(高年齢者叙勲9/1) 片上 耕 氏 昭31年卒
- * 瑞宝双光章(高年齢者叙勲10/1) 山本 大光 氏 昭29年卒
- * 安保 勝順 氏 昭44年卒
- * 瑞宝双光章(秋の叙勲11/1) 瑞宝双光章(秋の叙勲11/1) 吉川 賢司 氏 昭40年卒
- * 瑞宝双光章(秋の叙勲11/1) 旭日双光章(秋の叙勲11/1) 町田 宏介 氏 昭30年卒

令和の夕陽会を考える会

夕陽会の今後を展望して
令和三年九月一日に、「令和の夕陽会を考える会」から、これまでの議論をまとめた意見書が藤川会長に提出されました。校長、教頭、大学教授、公務員、会社員、学生の六名の委員の皆様には、お忙しい中、令和の新しい夕陽会の在り方について建設的な議論を重ねていただきました。今後は、副会長を中心とした特別委員会において、意見書の内容を検討し、本会の将来像を描きつつ組織や運営、事業等の充実・改善策をまとめ、令和四年度本部総会で提案する予定になっています。

- 1 意見書（付記内容を除く）**
 ① 会員相互の連携を図るための組織拡充の取り組みや事業内容について
 百年以上にわたり、教職に就いた同窓を中心に組織されてきた夕陽会の歴史や伝統の上に、母校を卒業・修了した全ての者を会員とし、様々な職種の同窓がつながることができ、組織にすることが必要である。そのため、次のことに取組む、会員の意識転換や組織の在り方の工夫を図ってほしい。
 ① 現在の本部役員や事務局の体制を見直し、様々な職種や若い同窓を役員に加えたり、事務局の役割や業務を検討・整理する。
 ② 会社員・公務員部会の拡充を図り、全道・全国的な組織とする。
 ③ 卒業・修了時等に同窓会の入会式を行うなど、同窓意識を高めるよう工夫する。
- 2 母校や地域への貢献について**
 ① 母校や地域への貢献について
 活動を支援するにとともに、教職のみならず多種多様な業種の同窓が集うことができるという本会のメリットを十分に活かした地域貢献を行う必要がある。そのため、次のことに取組む、母校の発展と地域の教育・文化の振興に寄与してほしい。
 ① 教員採用試験対策だけでなく、キャリアセンターと連携して学生の就職活動を人的・財政的に支援できるシステムの構築を図る。
 ② 学生の研究・文化・スポーツ活動を日常的に支援できるようにその窓口となる「仮称」学生支援部などを設け、学生のニーズを積極的にとらえたり、共に活動したりできるようにする。
 ③ 地域の教育・文化の振興に寄与している同窓の情報をホームページや会報で紹介したり、懇親会などにおいて会員が勤務する企業のPRをし合う場を設けたりするなど、多様な同窓が身近にいることを理解できるようにする。
- 3 財政基盤に応じた業務・事業の見直しと組織改編について**
 同窓会の事業や活動を維持するためには、会員が年会費を納めることは当然であるが、各個人や徴収する人の負担が少しでも軽減されるようにする必要もある。そのため、次のことに取組む、会員が納得できる財政の基盤整備と運用に努める。

- 4 事業に関する事項**
 ① 各支部が会員から年会費を集める、本部に送金する方法を継続するが、各支部においては徴収する人の負担軽減策を工夫する。
 ② 教頭と校長の会員が納めている「管理職特別寄附」について、廃止する方向で検討する。
 ③ 会社員や公務員の会員及び支部活動を行っていない地域に勤務する教職員の年会費の納入方法を明らかにし、周知を図る。
- 5 同窓会の目的**
 同窓会の目的は、会員相互の親睦を図ることである。本部の懇親会も会員名簿も、会員相互の親睦が深まることを目的とする必要がある。そのため、次のことに取組む、多種多様な同窓同士が、あるいは母校学生とも気軽にかかわることができる事業を工夫してほしい。
- 6 会員名簿**
 ① 会員名簿は、今後も専門業者に作成を依頼し、将来的には掲載希望や配付希望の有無を確認できるようにしたり、ペーパーレス化の検討も進めたりする。
 ② 次回の名簿発行時には、財政的負担を考慮して希望者に有償で頒布することも検討する。
 ③ 六月の本部大懇親会については、全国の会員が一堂に会する唯一の機会であることから、広報活動を一層工夫したり、同期同士が積極的に誘い合ったりするよう働きかけるなど、年齢や職種を超えて多くの同窓が楽しく集える場としての内容を検討・工夫する。

11 / 29	11 / 27	11 / 22	11 / 18	11 / 13	11 / 11	11 / 6	11 / 4	10 / 25	9 / 18	9 / 11	9 / 1	9 / 31	7 / 30	7 / 20	6 / 9	4 / 30	3 / 15	12 / 23
岩崎友哉 (平成24年卒)	野長瀬郁美 (平成17年卒)	松浦俊彦 (平成12院修)	渋谷智実 (平成2年卒)	前田知彦 (昭和60年卒)	委員名	厚生部	第1回「令和の夕陽会」検討委員会	第2回「令和の夕陽会」検討委員会	第3回「令和の夕陽会」検討委員会	第4回「令和の夕陽会」検討委員会	第5回「令和の夕陽会」検討委員会	第6回「令和の夕陽会」検討委員会	第7回「令和の夕陽会」検討委員会	第8回「令和の夕陽会」検討委員会	第9回「令和の夕陽会」検討委員会	第10回「令和の夕陽会」検討委員会	第11回「令和の夕陽会」検討委員会	第12回「令和の夕陽会」検討委員会

会務報告

幹事長
 白川卓 (令和2年院卒)

12 / 23 母校学生への生活応援金を配布する。
 12 / 25 母校卒業式において入会案内の配布及び夕陽会生表彰を行う。
 令和2年度第1回本部役員会を開催する。
 令和2年度夕陽会本部会計監査を行う。
 令和2年度「亀田交流プラザ」令和2年度第2回本部役員会を開催する。
 令和2年度「亀田交流プラザ」母校学生支援として「夕陽フォーラム」を開催する。
 母校学生支援として「明日の教師養成成熟」を開催する。
 藤川会長が「令和の夕陽会」を受け取る。からの意見書教育実習生に対して「生活物資の支援」を行う。
 五校同窓会会長・理事長（幹事長）会に藤川会長・白川幹事長が参加する。
 旭川大校友会オンライン開催
 全国支部長会議を书面審査とし文書を送付する。
 「令和の夕陽会」検討委員会発足打合せ会議を開催する。
 第1回「令和の夕陽会」検討委員会を開催する。
 厚生部・文化教育部が夕陽記念館整備・清掃を行う。
 第2回「令和の夕陽会」検討委員会を開催する。
 第3回「令和の夕陽会」検討委員会を開催する。
 第4回「令和の夕陽会」検討委員会を開催する。
 第5回「令和の夕陽会」検討委員会を開催する。
 第6回「令和の夕陽会」検討委員会を開催する。
 第7回「令和の夕陽会」検討委員会を開催する。
 第8回「令和の夕陽会」検討委員会を開催する。
 第9回「令和の夕陽会」検討委員会を開催する。
 第10回「令和の夕陽会」検討委員会を開催する。
 第11回「令和の夕陽会」検討委員会を開催する。
 第12回「令和の夕陽会」検討委員会を開催する。



後志支部だより

後志支部長 三浦 卓也
(昭和61年卒 古平町立古平小学校長)

春は日本海沿岸でのアメマス・サクラマスのシヨアフィッシング、夏は積丹半島のウニ井、秋は余市・仁木のブドウ狩りとワインやウキスキー、冬はニセコのパウダースノーを味わうスキーやスノーボード。後志は、四季を通じて観光ポテンシャルの高い魅力満載の地区だと自負しております。

このような環境の中、本支部は小樽市を除く十九町村から成り、今年度は約百二十名の先輩の皆様にお力添えをいただきながら、現職会員約百名で活動を行っております。

令和元年度に本支部創立百周年を記念して開催した大懇親会では、多数の先輩や会員が一堂に会し、盛大に祝杯を挙げました。その後まもなくして新型コロナウイルスへの感染が全国的に拡大し、会同して近況報告をしたり親睦を深めたりする場を設けることができなくなり現在に至っております。

令和三年度の活動状況ですが、総会は五月に紙面開催としました。二つある部の活動として、研修部は三回の学習会を企画・運営し、先輩の方々に講師を迎え「教育の最新事情」等を学ぶことができました。組織部は会報「輝け夕陽」を通じ、「新



岩手支部だより

岩手支部幹事長 山口 道明
(昭和57年卒 盛岡市立教育委員会専門研究員)

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、日本だけでなく世界中がまだまだ混沌としています。当支部の活動も例外ではありません。当然ながら総会や懇親会も中止です。

時間ができ、当支部の歩みについて改めて振り返ってみました。私が夕陽会岩手支部会員になった一つのきっかけは、昭和五十九年に初代支部長故及川梯三郎先生（昭和十六年卒）から電話をいただいたことですが、その及川先生ご本人と実際にお目にかかったのは、昭和六十年の第二回岩手支部集会のときでした。

及川先生は、その著『夕陽会岩手支部二十年の足跡』（平成十七年発行）で、岩手支部設立の事情を次のように記しております。

「岩手支部は、昭和五十九年の発足である。昭和五十八年二月に、藪田幸作先生（昭和十八年卒）から、私に長文の手紙が届いた。『北教大函館校に本州からの入学生が多くなり、本部としては、本州に支部を作ることを進めているので、岩手県にも支部を作ってほしい。』ということであった。」

及川先生は、函館の瀬川直光先生（昭和十九年卒）と笹浪幹雄先生（昭和二十九年卒）連名で送付されてきた名簿を頼りに三名の発起人と十名の世話人を選び「岩手支部設立準備会」を組織したのである。翌年、昭和

五十九年十月「岩手支部設立総会」を開催し、支部目的を「会員相互の親睦、連帯、向上」としました。そこには、母校から遠く道外にいる会員の支えになるという強い思いがあったようです。

当時百四十一名の会員は三十八年目の現在五百十八名です。おもしろいことに、支部目的を達成するためには、支部は年一度開催される総会を「支部集会」と呼んでいます。集会は県内十の支会を持ち回ります。家族同伴を歓迎します。各地域や会員から講師を依頼し講話を開催します。そして、開催地域の見学や観光です。その他にも、「被災地訪問」、「教員採用に係る県教委訪問」、「僻地勤務会員の激励」、「就職支援に係る母校との連携」等に取り組んできました。地元大学の採用が多くなり、岩手の教育振興にも努力してきました。しかし、学校教育だけが本命でもなく、当支部は教員だけの会でもありません。役所や会社企業等に勤務する会員も多く、広く多方面で活躍しています。このように当支部は、夕陽会精神である「土地懇闘、人民蕃殖をみちのくに」の支部設立当時の思いを貫き今があるのです。米大リーグ、エンゼルの岩手県出身大谷翔平が北海道日本ハムファイターズから世界で活躍したように、当支部も函館を礎に更なる発展を遂げるつもりです。

支部だより

故 安島 進 氏を偲んで



故 安島 進氏 略歴

昭和3年7月1日生
令和3年3月3日逝去（享年92歳）

【学歴・職歴】

- 昭和24年3月 北海道第二師範学校 卒業
 - 昭和24年4月 函館市立青柳小学校 教諭
 - 昭和33年4月 北海道学芸大学附属 函館小学校教諭
 - 昭和44年4月 檜山教育局指導主事
 - 昭和48年4月 北海道教育庁指導部 学校教育課指導主事
 - 昭和51年4月 北海道教育大学教育学部附属函館小学校 副校長
 - 昭和54年4月 函館市南北北海道教育センター所長
 - 昭和55年6月 夕陽会12代幹事長
 - 昭和58年4月 函館市立鍛神小学校 校長
 - 昭和58年8月 函館市教育委員会教育長
 - 平成6年6月 夕陽会8代会長
- 【受章・受賞】
- 平成4年10月 学制120年記念教育功勞者文部大臣表彰
 - 平成6年8月 函館市功勞者表彰
 - 平成28年7月 瑞宝双光章
 - 令和3年3月 従六位

安島 進君を偲んで

奥野 利夫（昭和24年卒）

同期の安島君が、令和三年三月三日に亡くなりました。昭和二十四年三月に北海道第二師範学校を卒業してから、もう七十二年が経ちました。

昭和十九年四月に入學した時の師範学校は全寮制で、学校の裏手に桐花南寮（予科寮）、道路を挟んで学校の正面に桐花北寮（本科寮）がありました。私達が入った予科寮は、一室八名（一、三年生が各二名、本科三年生の室長、本科二年生の副室長）の共同生活でした。安島君は、炊事委員室に配属になり、炊事担当の職員と共に、予科寮三百五十名の三度の食事の世話係を務めてくれました。強い責任感で、食材の買い出しや食器の管理など、私たちの生活を支えてくれました。

戦時中であり、起床、食事、登校など、全ての合図はラッパでした。このような軍隊式の共同生活をしていましたが、同室者は兄弟のように打ち解けたものでした。安島君は生来まじめな性格で、無駄口はなく、常に落ち着きのある態度で行動する人間だったので、同期の仲間にとっては、頼りがいのある兄貴のような存在でした。

令和元年の夕陽会本部総会・大懇親会の時に、車椅子で出席していた

安島君の姿が弱々しく見え、とても驚いたことを思い出します。あれが、安島君の最後の姿になるとは、思いもよりませんでした。安島君、長い間、本当にありがとう。安らかに眠りください。



安島先生との出会いに感謝

絹野 重治（昭和40年卒）

安島先生との最初の出会いは、先生が副校長をされていた附属函館小学校に私が勤務することになった昭和五十三年です。同じ学校で仕事をさせていただく中で、先生は気品があり、穏やかで、温かみがあり、何よりも優れたリーダー性を発揮されている方だと感じるものがたくさんありました。特に先生には、教師のあるべき姿を優しく、丁寧にご指導いただきました。また、人間として

歩むべき道の大切な指針と大きな財産をいただいたと、心から感謝しております。

安島先生は、平成六年から夕陽会の会長となり、同窓会のトップリーダーとしての力量を発揮されました。私も本部の仕事をさせていたいただいておりましたので、会の仕事を進めていく中で、安島先生の素晴らしさを数多く学ばせていただきました。

特筆すべきことは、平成十年八月八日に開催した「夕陽会創立八十年記念事業」を成功裏に終えたことです。

記念事業は、「教育フォーラム」、「記念式典」、「記念祝賀会」、「夕陽美術展」の開催、「八十周年誌」の発行などでした。さらに、現在も大切に受け継がれている「夕陽讃歌」の制定、「会旗」や「法被」の作成など、事業は多種多様にわたりましたが、安島先生の緻密で誠実なお人柄と優れたリーダーシップによって、大事業を無事にやり遂げることができました。

後日、安島先生が、「あの時は皆さんが、それぞれ活躍してくれて、立派な記念事業を行うことができたと。」と、とても嬉しそうに振り返っておられていたことが思い出されます。記念事業の実行委員の一人として、安島先生からリーダーに必要な企画力、実行力、指導力、評価力等を学ばせていただきました。

安島先生と出会い、先生のもとで仕事をさせていただいたことを、とても幸せに思っております。先生に深く感謝するとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

就任おめでとうございます

*秩父別町教育長再任(R3/3)

*小林 宏明氏 昭56年卒

*新ひだか町教育長就任(R3/4)

*久保田達也氏 昭55年卒

*新冠町教育長就任(R3/6)

*奥村 尚久氏 昭57年卒

*今山町教育長再任(R3/6)

*秀悦氏 昭59年卒

夕陽会員訃報

Table of obituaries listing names, birth/death dates, and family members. Includes names like 笹野俊彦, 山田光幸, 八重崎成一, etc.

Table of obituaries (continued) listing names, birth/death dates, and family members. Includes names like 武田哲哉, 谷村誠, 渡部健二, etc.

編集後記

◆新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が落ち着きを見せる中、新たな変異株の出現により、にわかには世界中がざわめいています。◆そのような状況下であっても、夕陽会は限定的ではありますが、決して時計を止めることなく、会員各位の思いと絆を紡ぎ直し、困窮する学生に支援しながら、令和の時代に相応しい同窓会として生まれ変わるべく、藤川会長を先頭に着実な歩みを続けております。

◆あとわずかで年も改まろうかというこの時期にまで遅れてしまいましたが、お詫びの気持ちとともに会報第二三十一号をお届けします。

◆本号では、「令和の夕陽会を考える会」が標榜する将来の夕陽会の有り様を見通す上で大変重要な提案を掲載いたしました。是非とも、熟読していただき、会員個々が変容していくための一助にご活用いただけたら幸いです。

◆それでは会員の皆様、どうぞよい年をお迎えください。(情宣部長 樫野 人範 記 昭60卒)

本部事務局へのご連絡などは、次の所へお願いいたします。 041-0806 函館市美原3丁目48番6号 北海道教育大学附属函館小学校内 夕陽会本部事務局 電話番号(01338)46-2235 夕陽会専用(01338)34-5520 FAX番号(01338)47-7376 e-mail: sekiryukai34520@gmail.com